



圧倒的な加速力をさらに強化!!
気持ちよさと快適性も見違える

シフトアップで駆動が途切れない!

長い直線がどこまでも続くとしたら、ずっと加速していきたくなる気持ちよさ。テクニックなしに旋回中のシフトアップも簡単にできる

今回、ケイファクトリーが提案するのは、オリジナルのチタン製スリップオンマフラー&オートシフター、そしてサブコンである。パワーコマンダーVの3点セットだ。「サブコン」と聞いただけで難しく、そうイメージを抱く人も心配無用で、このマフラーに合わせたセッティングデータが最初から組み込まれており、空燃費を13.5〜13.5くらいに合せている。ガスが濃い、薄いというのはこの空燃費のこと、数字が大きくなるほど薄いとことだ。ノーマルは低速が薄く、高回転は濃い状態だ。

大パワー&大トルクを常に途切れさせずに加速させ続ける心地よさは、ノーマルを上回る余裕に溢れていた。

ZX・14Rのパワーに不満を持つ人がいるだろうか? 恐らくないはずだ。ではZX・14Rの加速感はどうだろうか? これも素晴らしい! しかしその加速感をさらに磨き上げることができるとしたらどうだろうか? ZX・14Rに乗る硬派な大人は、そこを妥協しない方がいいし、ケイファクトリーのZX・14Rの圧倒的な加速力が生み出す至福の瞬間を是非とも体感していただきたいと思った。そう思わせるほど、このZX・14Rの加速は上質だった。それは飛ばさなくても体感できる性能で、

R/C IMPRESSION
KAWASAKI ZX-14R
K-FACTORY

ZX-14Rに乗るベテランライダーに知って欲しい加速感がある。そのリヤタイヤのトラクションが途切れない快感と余裕は数値では表現できないが、フラッグシップにふさわしい性能だ

PHOTO/K.MASUDA TEXT/TOGAWA
問い合わせ/ケイファクトリー TEL072-924-3963 <http://www.k-factory.com/>
取材協力/ダイノマン TEL072-380-8936 <http://www.dynoman.jp/>

マフラー、サブコン、オートシフターの3点セットを22万8900円で販売



車検対応のチタン製スリップオン。音はノーマルよりも少しだけ遅い大人仕様。今回の3点セットは、ボルトオンだがショップで装着してもらった方が無難だろう

パワーコマンダーVの守備範囲は広く、各ギヤやモードごとでも設定可能。通常、セッティング料金は5万円だが、今回はマフラーに合わせた基本マップが組み込まれる

シフターはオリジナル。ご覧のスイッチをノーマルステップ(今回はケイファクトリー製ステップ)に装着する。1万2900円で単品販売もするが装着にはサブコンが必須

- ▶ スロットルを戻さず、クラッチを切らずにシフトアップ
- ▶ バンクしたままシフトアップが簡単
- ▶ 扱いやすいエンジン特性が手に入る
- ▶ パワー&トルクがアップ!
- ▶ 大幅な軽量化でハンドリングが軽快化

3点セットを投入することで、パワーは177.41psから184.72psに、トルクは14.58kg-mから14.95kg-mにアップ。14.95kg-mにアップした際のクラッチは空燃費、薄かったり濃かったりするSTDを13.5〜13.5に合わせる



RPM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Power (PS)	177.41	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72	184.72
Torque (kg-m)	14.58	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95	14.95

パワーコマンダーVはスロットル開度(横軸)と同回転数(縦軸)で細かく燃調を補正していくことができる。各数値はノーマルに対してどれくらい燃料を増量したり減量したりしているかを示す

セッティングは大阪のダイノマンが手掛け、シャシーダイナモ上と実走を何度も繰り返しながら、煮詰められている。

ちなみにサブコンとはパワーを上げるためのアイテムではない。マフラーを変えた時やライダーの好みに合わせたエンジン特性になるようにガソリンの噴射量を調整するものだ。例えば「低速でエンジンがギクシャクする」「スロットルの開けはじめにドンツキがあつて開けにくい」などといった症状を解消することができる。ようは、過敏な反応を穏やかにしたり、反対にスロットルを開けた瞬間に反応するシャープなレスポンスにすることが可能だということだ。

近年のバイクには十分すぎるほどのスペックが与えられている。しかし、それはすべてのライダーにとって乗りやすいとは限らない。パワーやトルクといったスペックでなく、数値に表れない感覚的なフィードバックを改善するためのアイテムがサブコンなのである。

だからケイファクトリーのZX-14Rは飛ばさなくても気持ちがいい。欲しい所できちんとついてきて、過敏に反応すると不快なところはしっかりと制御されている。そしてさらなる気持ちよさに貢献しているのが、ケイファクトリー製のオートシフターだ。

最近では外車のスポーツバイクを中心にノーマルでも装着されている



スロットルの開け始めやエンブレの効きなどの見えない性能にこだわる

燃調を担当したダイノマンの坂口真一さん。今回のZX-14RはFモードでセッティング。1〜6速すべてに専用のマップを入れ、きめ細かいセッティングを施す。パワーチェックだけでもいいので遊びに来て欲しいとのこと

ンは車体の挙動が乱れ、まともに加速できないからでもある。そんな憧れの加速が手に入るのだ。もちろんZX-14Rを全開のまま加速しているのか？ といった絶対的なムリ。だから今回のキットは高回転だけでなく、2500rpm以上（サブコンで任意に設定可）でオートシフターが使えるようにセッティングされている。これが実に絶妙な設定で、例えば信号からのスタートでも使えるし、コーナーの立ち上がりでバンクしたままシフトアップも可能だ。



ZX-14Rをさらなる高みへと引き上げる ケイファクトリーからの新たな提案



マフラーはフルチタンのFRCスリップオンマフラー（17万6400円）。平成22年度音響規制&平成19年度排ガス規制に対応。ブルーの焼け色が美しい。ステップ（5万2500円）は4ポジションから選べ、長距離も快適なポジションを約束する。今回の3点セット第2段は、Ninja1000とZ1000を予定しているというからこちらも楽しみだ

ハンドルアップキット（7350円）は5、10、15mmの3段階に調整可能。ケーブル類はノーマルが使える。クラッチ操作を軽くするクラッチレリーズ（2万9400円）は黒、銀、金、フロントスプロケットカバー（3万6750円）は黒と銀を用意

転倒時のダメージを軽減してくれるスライダー（1万750円〜）は黒、銀、金を用意。オイルフィルターキャップ（3990円）はチタンカラーのみ

R/C IMPRESSION KAWASAKI ZX-14R K-FACTORY

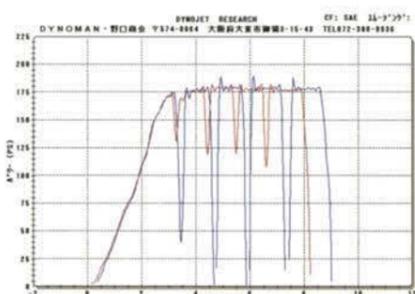
もちろん全開時の加速力は凄まじい。まるでワープするかのようスピードメーターは信じられないほどの速度を刻み始める……。さらにオートシフターのメリツトは加速感の向上だけではない。ツーリング中、シフトアップで常にクラッチを切らなくていいから左手の疲労も大幅に軽減できる。しばらくは、この燃調のマップで乗るのがいいと思う。しかし、サブコンを触らないのは少しもったいない。その可能性は無限大なのだ。

サブコンは皆さんが想像している以上の仕事をこなす。例えば、エンブレの強弱も調整可能だし、3速と4速は加速するセットで5速と6速は燃費優先のセット、みたいなことも難しくない。

雨でバイクに乗れない休日や寒い時期は、自宅のパソコンでいくつかマップをつくるのもいいだろう。マップの入れ替えは簡単だから、思いついたことを手軽に試すことができる。ZX-14Rの出力モードやトラコンに合わせて自分だけの加速感が手に入ったら、軽快になったハンドリングと合わせて、それは最高に気持ちいいはずだ。これが、ケイファクトリーからの新しい「バイク遊び」の提案だ。

シフターを使った場合と通常のシフトアップを比較

シフターを使うとリヤタイヤの駆動が途切れないことが分かる。実際にその動作を見ると、シフターを使わないと驚くほど車体が揺れ、怖い。ギヤチェンジにかかる時間も全然違う。パワーコマンドモードVは、各ギヤの点火カット時間も設定できる



るモデルもあるが、これはクラッチを切らずに、スロットルを戻さずシフト操作できる優れた物である。レースシーンでの装着率は100%で、モトGPなどでもライダーはストリートでスロットル全開のままシフト操作をしている。これは加速効率を良くするためだが、実はクラッチを切るとその瞬間にリヤタイヤの駆動が途切れ、パワーがありすぎるモトGPマシン